

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

広島アルミニウム工業(株) 八重製造部

(2) 事業所の所在地

〒731-1522 広島県山県郡北広島町 新郷1番5号

(3) 業種

アルミニウム・同合金ダイカスト製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、令和元年度を基準年度とし、令和3年度から令和12年度までの10年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（%）

温室効果 ガスの種類	基準年度 排出量(a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： **製品重量(t)**

温室効果 ガスの種類	基準年度 原単位 (a)	目標年度 上段：原単位 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	令和 元年度	令和12年度 (2030)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂	0.95	0.840 11.6	0.845 11.1	0.905 4.7	0.841 11.5	100.0	100.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計	0.95	0.840 11.6	0.845 11.1	0.905 4.7	0.841 11.5	100.0	100.0
エネルギー消費 原単位 (原油換算kl)	0.38	0.330 13.2	0.364 4.2	0.392 -3.2	0.334 12.1	100.0	100.0
実績に対する 自己評価	新型コロナウイルス感染症及び半導体不足の影響が緩和され、生産量がある程度回復してきた事で設備の稼働効率が改善。結果エネルギー消費の原単位が向上した。						

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	L P G原単位の低減	L P Gの原単位を50%削減	・日常点検による水漏れの早期発見・即是正 ・廃液量の削減（離型剤の少量塗布化）
2	電力原単位の低減	電気の原単位を6.7%削減	・エアー使用量の低減（エアー漏れの撲滅） ・水銀灯 → L E D灯へ変更
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合 計 量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	紙使用量の低減	紙使用量を30%削減	・裏紙使用、両面使用 ・電子データー化の推進
2	廃液量の削減	廃液量を39%削減	・廃液としていた油の一部を 廃油（リサイクル油）扱いとして処理
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。